



あんど



中学校部活動の地域移行を目指すなか、懸命に汗を流し
ゴールに向かってキックする安堵中学生

令和4年 5月臨時会／6月定例会

審議案件	P 2
議会構成	P 3
一般質問（4名の議員が一般質問を行いました）	P 4～7
感謝状授与、議員の訃報、議会のうごき、次回の定例会予定	P 8

令和4年5月臨時会

第1回臨時会を5月10日に開催。専決処分、人事案件、条例改正、補正予算など8件を審議し、それぞれ承認、同意、可決した。

	議 案	会 議 結 果
報告第	1号 安堵町税条例の一部改正〈専決〉	満場一致承認
報告第	2号 安堵町国民健康保険税条例の一部改正〈専決〉	満場一致承認
議案第	1号 安堵町監査委員の選任同意	満場一致同意
議案第	2号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第	3号 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第	4号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第	5号 安堵町議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第	6号 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	満場一致可決
辞	職 議長辞職	満場一致決定
選	挙 議長選挙	指名推選当選
辞	職 副議長辞職	満場一致決定
選	挙 副議長選挙	指名推選当選
選	任 常任委員会委員の選任	満場一致決定
選	任 議会運営委員会委員の選任	満場一致決定

令和4年6月定例会

第2回定例会を6月2日から15日の14日間で開催。専決処分、条例改正、補正予算などを審議し、それぞれ承認、可決した。
一般質問には、4名の議員が当面する町政課題について答弁を求めた。

	議 案	会 議 結 果
報告第	1号 令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書	議会へ報告
報告第	2号 令和3年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	議会へ報告
報告第	3号 令和4年度一般会計補正予算(第1号)〈専決〉	満場一致承認
報告第	4号 令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)〈専決〉	満場一致承認
議案第	1号 安堵町介護保険条例の一部を改正する条例について	満場一致可決
議案第	2号 令和4年度一般会計補正予算(第2号)	満場一致承認
報告第	5号 令和3年度安堵町土地開発公社決算の報告	議会へ報告
議案第	3号 令和4年度一般会計補正予算(第3号)	満場一致可決

議会役員を選出

第1回臨時会において、指名推選により、議長に森田瞳議員、副議長に浅野勉議員が選任された。また、委員会の正副委員長及び各種委員も下記のとおり決定した。

就任の挨拶



もりた ひとみ
森田 瞳 議長

この度、5月10日の臨時会におきまして、議員全員のご推挙により、安堵町議会議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄に存じます。

私自身、議長を務めるのは今回で9回目となりますが、職責の重さに改めて身の引き締まる思いでいっぱいです。

『議会だより』の発行をはじめ、「議会は、町民の皆様方の声を反映させる場である」という認識を常に持ち、開かれた議会を目指して最善を尽くしてまいります。

今後ご理解とご協力をお願い申し上げ、議長就任のご挨拶といたします。

正副議長			
議長	森田 瞳	副議長	浅野 勉
監査委員 (議員選出)			
福井 保夫			
総務産業建設常任委員会		文教厚生常任委員会	
委員長	大星 成司	委員長	松田 勝
副委員長	増井 敬史	副委員長	欠員
委員	松田 勝	委員	増井 敬史
委員	山岡 敏	委員	山岡 敏
委員	福井 保夫	委員	福井 保夫
委員	浅野 勉	委員	浅野 勉
委員	森田 瞳	委員	森田 瞳
委員		委員	大星 成司
議会運営委員会			
委員長	山岡 敏	副委員長	浅野 勉
委員	松田 勝	委員	増井 敬史
委員	大星 成司		
組合議会			
山辺・県北西部広域環境衛生組合議会		議員	大星 成司
まほろば環境衛生組合議会		議長	森田 瞳
		議員	大星 成司

補欠選挙の結果 7月10日執行の安堵町議会議員補欠選挙にて、次の2名が当選された。



こんどう こういち
近藤 晃一 氏
68歳
岡崎



もりた ひろやす
森田 裕康 氏
63歳
笠目

災害に強いまちづくり 要配慮者の避難誘導について



ますい けいじ
増井 敬史

問 自然災害の発生を止めることはできないが、それによって引き起こされる被害は、行政の取組と地域住民の力で減らすことができる。

そのためには、日頃から住民同士での備えが大切である。なかでも、災害時に特に配慮を必要とする方を支援する取組が重要になってくる。

自主防災における共助では、近所の**災害時要配慮者**を避難所等に避難誘導することが重要であると考えている。

昨年民生委員が、緊急時・災害時の対応や避難活動に生かすための調査が実施された。

町内の災害時要配慮者を各自治会に情報開示して、自治会の自主防災組織による避難誘導体制を確立することが必要であると考えている。

この件の取組について伺う。

答 総務部長 災害対策基

本法は、要配慮者のうち、自ら避難することが困難なものであって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要するものに必要な措置を実施するため「**避難行動要支援者名簿**」の作成を義務付けている。平常時における自治会や自主防災組織等への名簿提供は、共助による避難誘導体制を確立するため、大変有効な手段と考えている。

ただし、災害対策基本法では、本人の同意を必要としているので、名簿情報提供の同意について再度確認作業を進めている。

自主防災組織の育成と共に、名簿情報提供による一層の避難体制づくりを目指していく。

問 町内には避難行動要支援者は何人いるか。

答 総務部長 手元に資料を持ち合わせていないので、後程調べて報告する。

増井 「災害時要支援者名

簿」を現在作成中と伺っている。災害時の避難誘導体制を確立できるようにお願いする。



財政健全化計画の取組について

問 財政調整基金の繰り入れについて伺う。

答 総務部長 財政調整基金の取り崩しは、平成30年度2億5,000万円、令和元年度6,000万円である。

平成29年度と令和2年度は取り崩し無しである。

普通会計の決算の状況は、平成28年度以降単年度収支、実質単年度収支の赤

字が続いている状況だったが、令和2年度の決算は約9,600万円の黒字となっている。

問 財政調整基金の残高はいくらか。

答 総務部長 令和2年度末の残高は6億6,570万円である。
(平成29年度末残高9億7,455万円)

増井 令和元年11月に策定された安堵町財政健全化計画では、議会とも協議していたが、その後審議することなく経過しているの、協議を再開するようにお願いする。

※財政調整基金とは

地方公共団体が年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金。財源に余裕がある年度に積み立てておき、災害など必要やむを得ない理由で財源不足が生じた年度に活用する。



ふくい やすお
福井 保夫

教育・子育て支援の充実を

教育長3年間の実績は

答 教育長 コロナ禍の中、空調、洋式化も含めたトイレ全面改修、ICT整備等教育環境充実に傾注致しました。又、石を一つ一つ積み上げていくよう努力しました。

福井 こども議会・模擬選挙・ゴミ有料化に伴うゴミ削減問題について・新聞記者による新聞記事について等、色々経験を。

問 町長への提案は。

答 教育長 提案は具体的にはない。町長と将来的なことを協議してきた。次期3年も、石を一つ一つ積み上げていくよう努力していく。

福井 次は、今一番問題になっている部活問題だろう。又、御宮知商工会会長からの提案、剣道クラブへ

の支援・英語暗唱大会への理解実施を。

町長選挙に向けての、教育・子育て支援の具体的公約は

答 町長 小中一貫教育や義務教育学校も含めて、将来的に総合型教育施設を進め、財源確保の面からも、特定の基金の創設準備を進めたい。



令和4年4月に開校した王寺町立王寺北義務教育学校

「高取町じごとコンジュ」について

答 総務部長 現在、高取町が全国で3番目の実施団体である。事業の仕組みは、人手が欲しい事業所のニーズを仲介者が受けて、働きたいと思う幅広い年代に対応してしごとをつなぐ有料のシステム。

福井 安堵町も新しい企業が増えている。今できる事を実施し、高取町の1年後を視察・検証し、良ければ実施を。今は、シルバー人材センターにより支援を。

再任用者の条件について

答 総務部長 現在、再任用職員は9人で、俸給は、1級18万7,700円・2級21万5,200円である。今後、退職年齢は、段階的に引き上げて令和13年度で65歳になる。

福井 再任用者とは、条件をきちっと伝え契約を。

「オブジェ案山子・聖徳太子像」は今後、どうするか



案山子公園の聖徳太子像

答 事業部長 故森中会長の貢献を考慮し、管理を続ける予定であるが、今後の案山子事業については、実行委員会に委ねる。

福井 土地問題等、家族の意向を聞き検討を。



あさの 浅野 つとむ 勉

災害時の生活安全対策の具体的施策は？

問 大規模災害時の各避難所の運営（担当者・設備・備品）について

答 総務部長 避難所の設営環境対策として、段ボールベッド、マット毛布セット、簡易トイレを備蓄済み。停電時に備えてLPガス発電機及びLED照明器具の配備。自動車販売会社と外部給電機能付きの車両の貸与を契約済み。

また、指定避難所のコクナ対策として、対応指針に基づき消毒液、マスク、医療用手袋、体温計、問仕切り等を備蓄済みである。

問 避難所の運営の配慮事項に女性職員の配置は？

答 各避難所には女性職員の配置を予定している。また、日用品として生理用品等も備蓄。プライバシー保護のため、テントを10張整備済み。



問 町内各地域の自主防災組織の結成は？

答 現時点では数力所が結成されたが、町内全地域の自助・共助の活動集団の結成に向けて働きかけ・啓発をする。

問 大規模災害等に備えて、町全体の防災訓練の実施計画は？

答 現在策定中。先ず今年度は、町内12大字全ての地

区で防災講習会を実施予定。



問 過去の地震災害時、被災地の学校施設が避難所になった際、住民が教室等を使用。学校再開に問題が生じたとの報告がある。

地域住民と学校との事前協議の場の設定について

答 総務部長 今後、行政、地域及び学校が共通認識を構築できるように検討する。

問 災害時の職員の担当と来庁者の避難誘導等について

答 総務部長 災害時の職員対応は、消防計画の中で分担を決めている。今後は、避難訓練時に係担当の表示として腕章等を活用し「消火班」「避難誘導班」等の分掌にあたる。

問 防災に関して外国人に対する啓発は？

答 現在、内閣府、消防庁、観光庁、気象庁が連携してスマートフォンアプリやWEBサイトを利用した防災・気象情報を多言語で提供中である。これらの取組を積極的に周知していく。

「人生を豊かにする生涯学習の推進施策は？」

問 東大寺修二会に奉納され、安堵町の伝統産業であり、歴史的文化財の「灯芯ひき」の現況と伝承について

答 教育次長 「灯芯ひき」は平成27年に安堵町「無形民俗文化財」と指定。その技術の伝承のため現在、「灯



「伝灯」の意義を引き継ぐ

芯保存会」による蘭草（いぐさ）の栽培をはじめ、町立歴史民俗資料館事業として、小学生や町内外の一般の方を対象に「灯芯ひき体験会」を多数開催し発信をすすめる、本技術の継承に努めている。

問 「あんどかるた」が制作されましたが、今後の活用について

答 おはなし会ねこじやし原作「ふるさと安堵いいとこ巡り」を元に、安堵町民生児童委員協議会が、遊びを通じて安堵町を知ろうという目的でかるたの制作を企画。2年間の歳月をかけて完成された。1セット



あんどかるたの絵札 (A 4版)

は、安堵小学校に寄贈され、総合的な学習の授業で活用されている。



まつだ まさる
松田 勝

教職員の『働き方改革』 部活動の地域移行が焦点に 指導者不足が重要課題

安堵町としての具体的な取り組み方法は?

問 スポーツ庁の有識者会議は、運動部活動の活動主体を学校から地域に移行させるための提言案をとりまとめた。安堵町として具体的な取り組み、スケジュール及び推進計画を伺う。

答 教育次長 国は2023年から2025年度の3年間を改革集中期間としているので、今後、国・県からの指示、連絡等を受け安堵町社会教育委員及びスポーツ団体の方々の意見を頂戴しながら進めることとする。

問 国からの指示待ちでは問題解決にはならない。すでに先行実施されている中学校を参考に、今年度中の検討開始が必要ではないか。

答 町長 安堵町ではどのような人的資源があるのか、現在の中学校での部活以外で他の部活の希望者がどれほどいるのか等、今からできる調査活動については実施していきたい。



ごみ袋有料化後の問題点は? 粗大ごみリクエスト収集の住民周知に問題

ごみ袋有料化後の問題はほぼ解消

問 有料化の際いろいろな問題点が指摘されていますが、現在の状況を伺う。

答 住民生活部長 4月当初は分別間違いや袋の使用間違い等で収集できないごみもあったが、住民の皆様のご理解とご協力により、

なぜ今、部活の地域移行が必要なのか?

今回、地域移行を休日にとった最大の目的は「教員の休日確保」にある。休日だけでも部活動から離れられれば、心身の負担軽減が期待できる。これが教職員の「働き方改革」のひとつである。また、過疎化と少子化は学校部活動で団体競技に取り組む子供たちに暗い影を落としている。部員不足による「廃部」である。これらの解決策として考えられたのが学校から地域への移行である。

現在は徐々に改善されてきている。収集業務員による張り紙等の対応は継続する。

住民周知の方法は改善すべき

問 7月1日からの実施にもかかわらず、5月末の区長会及び7月のあんど広報での住民周知と

なった。最低でも3か月程度前には住民に知れ渡るような周知の改善が必要ではないか。

答 住民生活部長 今回住民周知が遅くなり申し訳なかった。今後はきちんと準備し、早めの住民周知に努めていく。

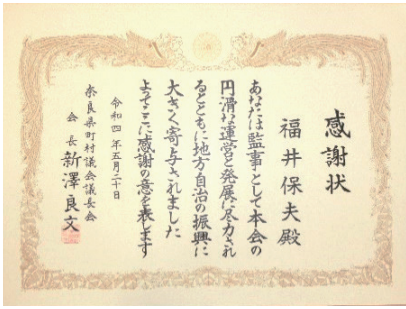


感謝状授与

奈良県町村議会議長会の監事として2年間尽力されたことについて、奈良県町村議会議長会から感謝状が授与されました。



福井議員(左)と県議長会事務局長(右)



感謝状

三浦議員の訃報について

6月4日にご逝去されました(享年80歳)。

令和元年4月に初当選し、文教厚生常任委員会委員長を務めるなど、約3年間にわたり、精力的に議員活動をされました。ご冥福をお祈り申し上げます。



議会のうごき

- 5月**
- 10日 第1回臨時会
本会議(開会)
- 17日 議案事前説明会
- 23日 議会運営委員会
- 6月**
- 2日 第1回定例会
本会議(開会)
- 3日 本会議(一般質問)
- 6日 全員協議会
- 13日 全員協議会
議会運営委員会
- 14日 第1回広報編集部会
子供及び子育て世代の人口増に関する対策検討特別委員会
- 15日 本会議(閉会)
- 29日 第2回広報編集部会
- 7月**
- 7日 第3回広報編集部会
- 15日 議員勉強会
(財政健全化について)

次回の定例会(予定)

- 8月18日 議案事前説明会
- 25日 議会運営委員会
- 9月1日 第1回定例会
本会議(開会)
- 5日 本会議(一般質問)
- 6日 一般会計決算審査特別委員会
- 7日 特別会計決算審査特別委員会
- 8日 総務産業建設常任委員会
- 9日 文教厚生常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 16日 本会議(閉会)

議会を傍聴しよう!!

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議・委員会等を傍聴される方は、次の項目について、ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

- 入場時に手指の消毒を行ってください
- 室内ではマスクの着用など咳エチケットの励行に努めてください
- 37.5度以上の熱、強いだるさ、息苦しさがある場合は、傍聴をご遠慮願います